

主要出版物

【出版物購入方法について】

- ・ FAXまたはハガキでの申込（送料はお客様負担となります）
FAX番号 03—3435—7576
- ・ 当機構HP上の「購入申込書」を印刷し、必要事項をご記入の上、FAX願います。
- ・ ハガキの場合は、送付先住所、氏名（会社名等）、電話番号、購入書籍名、購入冊数をご記入願います。

新刊

1

（平成24年度版）

不動産売買の手引

平24.6刊/B5判 61頁/税込 126円

不動産を売買（主として購入）する方々が、トラブルに巻き込まれることなく、安全な取引をするために注意すべき事項を取引段階（①購入計画、②事前調査、③物件調査、④契約締結、⑤決済引渡）ごとに分かりやすく説明した小冊子。

新刊

2

（平成24年度版）

住宅賃貸借（借家）契約の手引

平24.6刊/B5判 51頁/税込 126円

賃貸住宅の契約について、①全体の流れ②入口（契約、入居時）③居住中（契約の更新等）④出口（退去時の原状回復等）の順に、借主、貸主等当事者がトラブルに巻き込まれないよう、注意すべき点を分かりやすくまとめたもの。

新刊

3

心理瑕疵の説明義務

【弁護士 渡辺 晋氏 講演録】

平24.6刊/A4判 58頁/税込 525円

実務において問題になることが多い自殺事故物件についての宅建業者の説明義務について、多くの判例を紹介しながら分かりやすく講演されたもの。

新刊

4

最新・宅地建物取引業法 法令集

平24.5刊/A4判 204頁/税込 525円

平成24年5月1日現在の宅地建物取引業法及びこれに基づく法令で特に基本的なものに限定し、併せて、宅地建物取引業法の解釈・運用の考え方を掲載している。

5

最近の諸課題を踏まえた 不動産取引

【弁護士 柴田 龍太郎 氏 講演録】
平24.4刊/A4判 132頁/税込 630円

宅地建物取引業者が直ちに取組みなければ諸課題とされる、消費者契約法、瑕疵担保、災害、反社会的勢力排除条項等について、具体的な事案とその対応例をあげて、わかりやすく講演されたもの。

6

東日本大震災と不動産取引 の法律上の問題

【弁護士 岡本 正治 氏 講演録】
平24.1刊/A4判 62頁/税込 525円

先の東日本大震災における、大規模な原発事故等により発生した様々な不動産取引に関わる問題について、わかりやすく講演されたもの。

7

現状回復をめぐるトラブル とガイドライン(再改訂版) ～再改訂内容の解説付き～

平23.8刊/A4判 153頁/税込 945円

賃貸住宅退去時の現状回復費用の負担の考え方について、平成16年の改訂から7年を経過し、裁判事例の追加、残存価値割合の変更等、所要の改訂が行われた。再改訂内容の解説が付いている。

8

宅地建物取引の最新の課題

【弁護士 諏訪 裕滋 氏 講演録】
平23.5刊/B5判 40頁/税込 525円

宅建業者の重要事項説明において見逃しがち

な「目隠し設置義務」等について、民事的な問題も含めて、わかりやすく講演されたもの。

9

不動産取引業者の行為規範に関する 若干の考察—最近の事例・判例から

【関西大学法科大学院 教授 下村 正明】
平23.2刊/A4判 49頁/税込 525円

双方媒介(両手仲介)の問題、瑕疵判断基準時判例をめぐる問題、さらに最高裁の判断が注目されている建物賃貸借契約の更新料特約の有効性について、わかりやすく講演されたもの。

10

図解不動産業

建物賃貸借トラブルの実例と解決

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:村川隆生(調査研究部 首席主任研究員)
画:藤井龍二 発行:株住宅新報社
平22.12刊/B5判 254頁/税込 1,785円

「不動産売買トラブルの実例と解決」の姉妹編。さまざまな建物賃貸借のトラブルを①契約・入居までのもの、②入居期間中のもの、③退去・明渡しのものに分けて、実務での考え方などについて法律の規定や裁判例も紹介しながらわかりやすく解説したもの。マンガを併用して読みやすくしてある。

11

不動産取引紛争に関する留意点 ～予防と対策～

【財団法人 不動産適正取引推進機構
研究理事・調査研究部長
周藤 利一 氏 講演録】

平22.8刊/A4判 78頁/税込 525円

宅建業者の調査、説明義務の基本的な考え方を確認したうえで、眺望、日照、土壤汚染、アスベスト等の取引において問題になりやすい事項について、紛争予防の観点から宅建業者が留

意しておくべきことなどをわかりやすく講演されたもの。

12

最近の宅地建物取引紛争事例から見た取引上の問題点

【弁護士 岡本 正治氏 講演録】
平22.5刊/A4判 44頁/税込 525円

最近の取引に係る紛争事例から民事上の問題点と宅建業法上の問題点を検討し、媒介業務における「取引の公正」をどのように考えたらよいかについて、わかりやすく講演されたもの。

13

わかりやすい
宅地建物取引業法

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:周藤利一(研究理事・調査研究部長)
河井睦朗(国土交通省土地・水資源局
地価公示室長)
発行:株大成出版社
平22.2刊/B5判 446頁/税込 2,940円

宅地建物取引業法の基本的な理解を目的として、宅地建物取引業法の条文に沿って、その趣旨、解釈、運用、留意点等をわかりやすく解説している。

14

不動産取引と不動産市場の特質
—売買を中心として—

【財団法人不動産適正取引推進機構
会長 平井 宜雄氏 25周年記念講演録】
平22.1刊/A4判 37頁/税込 525円

市場型契約と組織型契約の概念に基づき、売買を中心とした不動産取引と市場の特質について体系的・理論的に解明し、市場の活性化方策について提言していただいた。

15

売主・貸主の破綻と媒介業者の責任

【弁護士 宇仁 美咲氏 講演録】
平21.11刊/A4判 56頁/税込 525円

取引の当事者が破産、倒産した場合の債務整理の方法等と宅建業者の媒介上の留意点について、事例を紹介しながらわかりやすく講演されたもの。

16

不動産取引用語辞典(8訂版)

監修:国土交通省総合政策局不動産業課
編著:不動産適正取引推進機構
不動産流通近代化センター
不動産証券化協会
発行:株住宅新報社
平21.10刊/A5判 480頁/税込 2,520円

不動産取引用語及び関連の用語を体系・網羅的に収集して取引の適正化・合理化・トラブルの予防等に資することを目的に編集。八訂版は瑕疵担保履行法の制定、宅建業法等その他関係法令の改正を踏まえ、大幅に見直し、約1650語を収録している。

17

図解不動産業
不動産売買トラブルの実例と解決

監修:財不動産適正取引推進機構
著者:村川隆生(調査研究部 首席主任研究員)
画:藤井龍二 発行:株住宅新報社
平21.10刊/B5判 240頁/税込 1,785円

取引実務における基本的な問題や、よくあるトラブルの事例をとりあげ、トラブルを未然に防ぐための調査や説明方法、宅建業法の規制、トラブル解決への考え方等についてまとめたもの。“マンガ”もつけて読みやすくしてある。

18

近時の判例に学ぶ 瑕疵担保責任 と宅建業者の説明義務

【弁護士 熊谷 則一 氏 講演録】
平21.4 刊/A 4 判 88頁/税込 525円

近時の判例をフォローしながら、瑕疵担保責任に関する問題と媒介業者の説明義務について、裁判所の考え方等をわかりやすく講演されたもの。

19

最近の不動産取引に係る 相談事例と行政処分について

【東京都都市整備局住宅政策推進部
不動産課長 鈴木 正巳 氏 講演録】
平20.10刊/A 4 判 60頁/税込 630円

東京都における最近の紛争事例や指導の状況について、最新のデータを使って、わかりやすく説明していただいたもの。

20

最新・不動産取引の判例

平20.6 刊/A 4 判 467頁/税込 2,100円

平成11年10月以降に公表された不動産取引に関する最新の620判例を売買、賃貸借、マンション、近隣紛争等、幅広い分野から収録したもの。

21

宅地・建物取引の判例(9)

平20.2 刊/A 5 判 248頁/税込 1,400円

平成15年から17年における不動産取引に関する主要な裁判例について、事案の概要と判決を簡潔に取りまとめ、106事例を収録したもの。

22

望ましい重要事項説明の ポイント(3訂版)

平19.11刊/A 5 判 174頁/税込 1,680円

平成3年10月に初版、平成14年2月に改訂版を発行したものを、その後の諸法令の改正等を踏まえ改訂したもの。依然として最も紛争の多い重要事項説明について業者として留意すべき事項について、実務に役立つことを主眼として解説している。

23

不動産取引紛争と対策

—予防法学(紛争の未然防止)の見地から—
【弁護士 宇仁 美咲 講演録】
平19.9 刊/A 4 判 55頁/税込 500円

不動産取引の営業段階、契約締結段階において、何をどこまで説明する義務があるのか、将来的なことはどこまで説明しなければならないのか等について、具体的事例に基づきわかりやすく講演されたもの。

24

不動産売買における 媒介報酬の解説

平15.12刊/A 5 判 260頁/税込 2,730円

不動産売買における媒介報酬について、できるだけ理解しやすいように、89の判例とともに解説している。

発行 (株)住宅新報社